様式－１－１ №１

平成　　年　　月　　日

(一財)日本建設情報総合センター研究助成申請書

（研究期間希望：□1ヵ年　□2ヵ年）

　一般財団法人　日本建設情報総合センター

理事長 門　松　　　武 殿

勤務先・職名

ふりがな

氏　名　　　　　　　　　　　　　印

　　（※　研究寄附金助成の申請の場合には、研究寄附金担当者も連名で記載してください）

　　　研究寄附金担当者　　　勤務先・職名

ふりがな

氏　名　　　　　　　　　　　　　印

貴財団の助成金を受けて下記のテーマについて研究を実施したいので申請いたします。

記

１．研究テーマ

２．実施期間

自　平成３０年　９月　１日 　　　至　平成３１・３２年　１１月３０日

３．助成金要望額

要 望 額 金 円

４．研究助成金交付方法（下記の何れかを選択すること。）

□　普通助成 □　研究寄附金助成

様式－１－１の２ №２

**研究助成　申請概要書**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 記入時の  留意事項 | 記入欄 |
| 郵便番号 |  | 〒 |
| 住所 |  |  |
| 勤務先･所属 |  |  |
| 職名・役職 |  |  |
| 氏名の読み | ひらがな記入 |  |
| 氏名 |  |  |
| 電話:TEL |  |  |
| FAX |  |  |
| E-mail |  |  |
| 申込区分 | 選択 | □右記以外　　　　□若手研究者枠 |
| 課題分野 | 記号を一つ選択 |  |
| 助成金要望額 | 単位:円 |  |
| 研究期間希望 | 選択 | □1年間　　　　 □2年間  （２年間の場合は、２年が必要となる理由を記入してください） |
| 助成方法 | 助成方法を選択 | □普通助成　　　□研究寄付金助成 |
| 研究テーマ |  |  |
| 研究成果・  目標の概要 | 30文字以内で  記入ください。 |  |
| 研究内容  の概要 | 200文字以内で  記入ください。 |  |
| 研究終了後の成果の発表予定（学会等） | 掲載予定時期・掲載先(学会誌名等)を記載。複数可。 |  |

留意事項：普通助成、研究寄付金助成については、以下の通りです。

　普通助成：民間研究者の場合。大学、専門学校、財団等の方で助成金の管理を個人が行う場合。

　研究寄付金助成：大学、専門学校、財団等の方で助成金の管理を所属する機関が行う場合。

様式－１－２ №３

助成申請者経歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふ　り　が　な  氏 名 |  | 生年月日 | 昭和・平成　　年　月　日 |
| 連 絡 先 | （〒 － ） | | TEL：  FAX：  E-mail： |
| 勤 務 先（所属） |  | | 職名 |
| 最　終　学　歴 |  | | |
| 学 　 位 　 等 |  | | |
| 研　　究　　歴 |  | | |
| 主 な 関 連 著  書 ・ 論 文 ・  研 究 発 表 等 |  | | |

様式－１－３ №４

共同研究者経歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふ　り　が　な  氏 名 |  | 生年月日 | 昭和・平成　　年　月　日 |
| 連 絡 先 | （〒 － ） | | TEL：  FAX：  E-mail： |
| 勤 務 先（所属） |  | | 職名 |
| 最　終　学　歴 |  | | |
| 学 　 位 　 等 |  | | |
| 研　　究 歴 |  | | |
| 主 な 関 連 著  書 ・ 論 文 ・  研 究 発 表 等 |  | | |

※ 共同研究者が２名以上の場合は適宜追加して下さい。

様式－１－４ №５

研 究 計 画 書　（2枚以内として下さい)

|  |  |
| --- | --- |
| 研究分野 | 課題番号（　　） |
| 研究テーマ |  |
| 特記事項 | ※注意 |
| 研究の目  的・意義 |  |
| 研究計画  の大要 |  |

※注意：特記事項【新規性・発展性・成果の具体的な活用方法（どこの機関でどのように活用するか等）について必ず記述してください。また、本研究が大きな研究の一部、他機関の助成等を受けている場合も記入してください。】

様式－１－５ №６

研究費用予定内訳書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 費　　目 | 金　額 | 内　　　訳 |
| 人件費 |  |  |
| 資料費 |  |  |
| 調査費 |  |  |
| 旅費交通費 |  |  |
| 消耗品費 |  |  |
| 通信費 |  |  |
| 印刷製本費 |  |  |
| 謝　　　金 |  |  |
| その他 |  |  |
| 管理費用 |  |  |
| 合計 |  |  |

参考資料

研究助成費目一覧表

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 費　　目 | 内　　容 | 備　　考 |
| 人件費 | 資料整理、実験、測定、実態調査、集計作業等の研究補助作業者に対する人件費 | 研究者本人、長期雇用に係るものは除く。 |
| 資料費 | 研究に必要な資料、図書、文献、マイクロ・フィルム、写真等の資料購入費 |  |
| 調査費 | アンケート調査、実験・試験、機械設計、プログラム開発等の一部または全部を外部に委託する際の経費。【借料・損料】会議室等の部屋代、実験・試験の機材、ハードウエア、コンピュータ、車両、机、ロッカーなどリース費用。 |  |
| 旅費交通費 | 出張（調査･会議出席等）にともなう交通費、宿泊費等（旅費交通費は助成金の50％以内を原則としてください。）、及び財団との打合せのうち必要な経費。 | 研究助成成果報告会のための旅費も含めてください。 |
| 消耗品費 | 一般事務用文具、分析・測定用の試薬･試料、市販のプログラムソフト、試作品製作のための部材・部品、研究用車両の燃料等、1点10万円未満の器具等消耗品費用。 |  |
| 通信費 | 電話、ファックス、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ等に要する通信費、資料等の運搬費。 |  |
| 印刷製本費 | 報告書、調査票、調査ﾏﾆｭｱﾙ、研究関連の作成文書等の印刷費および文献・文書資料等の複写費等。 |  |
| 謝　　　金 | 共同研究者以外の研究者からの助言・協力に対する謝礼、被験者に対する謝礼。 |  |
| その他 | 学会への論文投稿費用、その他必要な費用。 | 投稿する学会名を明らかにすること。 |
| 管理費用 | 助成金の管理に要する事務費用。（研究寄付金の場合のみ、研究寄附金額の３％以内で計上できます。） | 助成金の管理を大学の事務局等に委託する場合のみ計上できます。 |

注意：経費等で不明の場合は問い合わせ窓口へ相談して下さい。

【研究費用についての注意事項】

１．研究費用として認められない費用

①研究者本人の人件費

②長期雇用に係わる人件費

③備品費

研究終了後も残るハードウエア、ソフトウエア、机・ロッカー等で10万円以上（税込み）の物品は備品費となります。これらが研究に必要な場合は原則として以下の扱いとして下さい。

ハードウエア：レンタルによる調達

ソフトウエア：計算委託等による処理

机・ロッカー：レンタルによる調達

④主たる部分の委託費

ただし、計算委託等でやむを得ない場合は除く。

⑤研究と関連性のない費用

出張経費、消耗品の購入等で研究との関連性が認められない費用。

２．予定と決算の相違

予定と決算で、科目間における２割以内の変動は承認しますが、２割を超える変動がある場合は事前に財団に相談して下さい。また指定様式（様式－１－５①②）の書類を提出して下さい。

３．研究費運用の外部委任と奨学金

研究費運用の外部委任は、研究寄附金を除き認められません。

研究寄附金として処理する場合の決算報告は、領収書の代わりに、研究寄附を受けた機関等が研究実施期間において行った研究寄附金の予算管理データ（機関等の様式で可）を提出して下さい。

様式－２－１

請　　　　書

平成　　年　　月　　日

一般財団法人　日本建設情報総合センター

理事長 門　松　　武 殿

　 助成研究者

　　住　所

ふりがな

氏　名 　印

　　連絡先

　　ＴＥＬ

（※　研究寄附金助成の場合には、研究寄附金担当者も連名で記載してください）

研究寄附金担当者

　　住　所

ふりがな

氏　名 　印

　　連絡先

　　ＴＥＬ

　平成　　年　　月　　日付　　助成番号　　第　　　　　号

助成研究名「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

助成金額

助成金交付方法 □　普通助成 □　研究寄附金助成

上記の助成研究については、(一財)日本建設情報総合センター研究助成事業に関する実施要項及び申請書等に従って誠実に実施いたします。

様式－２－２

請求書（着手時５０・１００％払）

￥

但し、（助成研究名） 代金

助成番号 第　　 号

上記のとおり請求します。

平成　　年　　月　　日

〒

住　所

ＴＥＬ

ふりがな

氏　名 印

一般財団法人　日本建設情報総合センター

理事長 門　松　　武　殿

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 振 込 銀 行 名 | |  | |
| 支　 店　 名 | |  | |
| 預金種類  ○印 | 普通預金 | 当座預金 | その他  ( ) |
| 口座名義 | | | |
| ふりがな | | | |
|  | | | |
| 口座番号 | | | |
|  | | | |

　　　お受取人の預金種目・口座番号・ふりがなは正確に

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ご記入下さい

様式－２－３

請求書（完了時払）

￥

但し、（助成研究名） 代金

助成番号 第　　 号

上記のとおり請求します。

平成　　年　　月　　日

〒

住　所

ＴＥＬ

ふりがな

氏　名 印

一般財団法人　日本建設情報総合センター

理事長 門　松　　武　殿

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| （参　考）  助成金額 　　　円  確定金額 　　　円  着手時交付額 　円 | 振 込 銀 行 名 | |  | |
| 支　 店　 名 | |  | |
| 預金種類  ○印 | 普通預金 | 当座預金 | その他  ( ) |
| 口座名義 | | | |
| ふりがな | | | |
|  | | | |
| 口座番号 | | | |
|  | | | |

　　　お受取人の預金種目・口座番号・ふりがなは正確に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ご記入下さい

様式－１－５①

平成　　年　　月　　日

(一財)日本建設情報総合センター研究助成

研究費用予定内訳書の変更申請書

　一般財団法人　日本建設情報総合センター

理事長 門　松　　　武 殿

助成研究者 勤務先・職名

ふりがな

氏　名　　　　　　　　　　　　印

（※　研究寄附金助成の場合には、研究寄附金担当者も連名で記載してください）

研究寄附金担当者　勤務先・職名

ふりがな

氏　名　　　　　　　　　　　　印

貴財団の助成金を受けている下記のテーマの研究費用予定内訳表の変更を申請いたします。

記

１．研究テーマ

２．実施期間

自　平成　　年　　月　　日 　　　至　平成　　年　　月　　日

３．助成金要望額

要 望 額 金 円

４．研究助成金交付方法

□　普通助成 □　研究寄附金助成

様式－１－５②

研究費用予定内訳書（変更）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 費　　目 | 当初金額 | 変更金額 | 内　　　訳 |
| 人件費 |  |  |  |
| 資料費 |  |  |  |
| 調査費 |  |  |  |
| 旅費交通費 |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |
| 通信費 |  |  |  |
| 印刷製本費 |  |  |  |
| 謝　　　金 |  |  |  |
| その他 |  |  |  |
| 管理費用 |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |

様式－３－１

(一財)日本建設情報総合センター研究助成事業実績報告書

平成　　年　　月　　日

一般財団法人　日本建設情報総合センター

理事長 門　松　　武 殿

　 助成研究者

　　住　所

ふりがな

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　連絡先

　　ＴＥＬ

　平成　　年　　月　　日付　　助成番号　　第　　　号

助成研究名「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

上記の助成研究は　　年　　月　　日に完了いたしましたので、下記書類を添えて　 報告いたします。

－ 記 －

１．報告書 電子媒体１式

２．報告書の要約 電子媒体１式

３．助成金に関する決算報告書 １式

注意：（電子媒体１式：ｵﾘｼﾞﾅﾙ（ワード､一太郎等）及びPDF。）

様式－３－２

研　究　成　果　の　要　約

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 助成番号 | 助　成　研　究　名 | 研 究 者・所 属 |
| 第　　　号 |  |  |
| 研究成果及び今回研究の新規性、研究成果の具体的な活用についてご記入下さい。  また、成果の発表予定（学会等）についても時期、発表先を記載してください。  （申請時の研究計画書も公表しますので、研究目的、研究手順について記載しなくて結構です。） | | |

様式－３－２　記載例

研　究　成　果　の　要　約

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 助成番号 | 助　成　研　究　名 | 研 究 者・所 属 |
| 第○○○号 | ○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究 | 赤 坂　太 郎  ○○大学○○学部 |
| ２段組み  （２０字×４０行）  ２段組み  （２０字×４０行） | | |

様式－３－３　記載例

Case Introduction about the Application

of ３-d DIGITAL Map

# Hooooo,M. 1　Saooono.S. 1　Yaooooto.M. 1　Kooa,Ｍ. ２　Yoooioka,Ｋ. ３

# 1Japan Construction Information Center　2Pooooooi Research Institute,Inc.　 ３Kooooai Kooyo Co, Ltd

In flood flow simulations are generally used 500-meter or 250-meter gridded data. Recently, 50-meter gridded data are used in some simulations for special purpose. In present, 5-meter gridded data that are equipped by airborne laser measurement become available for flood flow simulations, and especially its utilization is expected in the urban flood flow analyses.

.

.

.

***Keywords*:***3-D digital map, airborne laser measurement, flood flow simulation.*

様式－４－１

助成金に関する決算報告書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究助成番号  第　　　　　号 | 研究テーマ | 勤務先・職名・氏名 |
|  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科　　目 | 金　額　（単位：円） | | 摘　　　　要 |
| 計　　画 | 実　　　績 |
| １．人件費 |  |  |  |
| ２．資料費 |  |  |  |
| ３．調査費 |  |  |  |
| ４．旅費交通費 |  |  |  |
| ５．消耗品費 |  |  |  |
| ６．通信費 |  |  |  |
| ７．印刷製本費 |  |  |  |
| ８．謝金 |  |  |  |
| ９．そ　の　他 |  |  |  |
| 10. 管理費用 |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |

平成　　年　　月　　日

　　　　　　上記のとおり相違ないことを証明します。

研究寄附金担当者　　　　　　　　所属

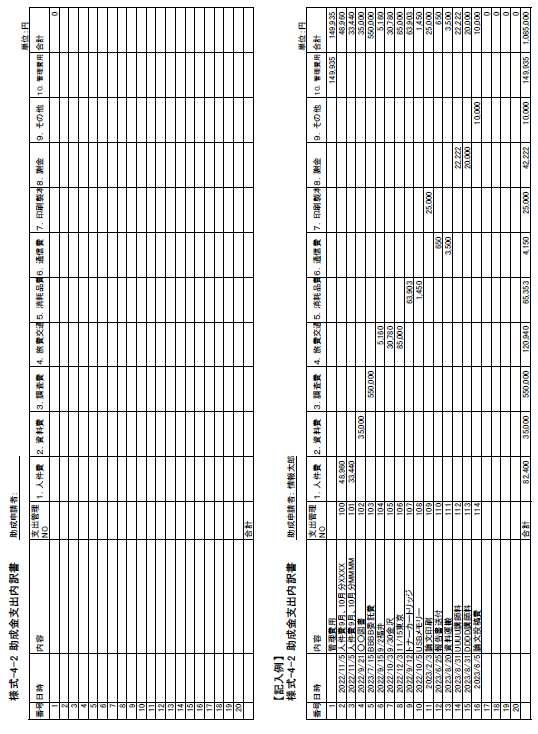
役職

氏名　　　　　　　　　　　　　　印

別添支払証拠書の通り

（注１）支払証拠書の作成に当たっては、領収書の原本をＡ４版に貼付し 決算報告書の科目との対応がわかるように整理をして下さい。（銀行振込書及び受領書はコピーにても可）

（注２）研究寄附金として処理する場合の決算報告は、領収書の代わりに、研究寄附を受けた機関等が研究実施期間において行った研究寄附金の予算管理データ（機関等の様式で可）を提出して下さい



様式－５

打合せ実績一覧表

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 打合せ日時 | 打合せ内容 |
| １ |  |  |
| ２ |  |  |
| ３ |  |  |
| ４ |  |  |
| ５ |  |  |
| ６ |  |  |

（注）JACICとの主要な打合せについて記入下さい。メール等の打合せも含みます。

発表実績一覧表

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 発表時期 | 発表場所または論文掲載場所 |
| １ |  |  |
| ２ |  |  |
| ３ |  |  |
| ４ |  |  |
| ５ |  |  |
| ６ |  |  |